

「北広島町を盛り上げ隊」

本単元で育成する資質・能力

根拠をもとにした思考・判断・表現力

主体性

自己効力感・郷土愛

1 単元について

本校の総合的な学習の時間の目標は「自分の生活と地域の事象との関わりなどについて、探求的な学習を通して、他者や社会との関わりを深めながら、多面的に追求する方法を身に付け、そこにある問題を主体的に見出し、仲間と協力して解決するとともに、地域（ふるさと）のよさに気付きよりよい生活を創り出すことや自己の生き方などを考えようとする。」である。第4学年では、「自分を育ててくれた人に感謝しよう」を学習課題として設定した。地域のよさや問題点に気づき、自分のこととして考え、将来の夢や希望を持ってさらに意欲的に生きていく心情を育てることができる単元である。

本単元は、①自分が生まれた頃、②現在、③自分が20歳を迎える10年後を学習の対象としている。地域や家族の人とのかかわりの中で、これまでの自分の成長と北広島町のよさや問題点に気づき、10年後の北広島町を想像させる。そして、想像した北広島町を実現させるために自分ができることを考え、行動できるようにさせる。最後は自分の10年後を考えさせ、成長の過程で自分を見守り、育ててくれた地域や家族に感謝し、将来の夢や希望を持てるようにすることがねらいである。

指導にあたっては、まず、地域行事「春を食べるカメ」に参加し地域への関心を高め、これまでの北広島町と自分の成長をふり返る活動をさせることで、10年後の理想の北広島町について考えたり、自分の将来について関心を持ったりできるような活動の工夫をしていく。例えば、社会科学習指導要領 第3学年及び第4学年の内容(6)ウ「県(都、道、府)内の特色ある地域の人々の生活」で扱う「わたしたちの住んでいる県」の学習に関連させて、北広島町の10年前の写真や人口のグラフ等を使って現在と比較させ、10年間の成長の大きさに気付かせる。また、10年後の北広島町に目を向けさせ、北広島町に住む人達が笑顔でいられるまちづくりについて子供達に考えさせるようにする。そして、図画工作科学習指導要領第3学年及び第4学年の内容A表現(1)ア「材料や場所などをもとに造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に発想してつくること」に関連させ、自分たちが考えた10年後の北広島町の姿を絵で表し、説明文を加えて地域の人に発信し、地域のために自分達ができることを考え、行動させる。

さらに、地域のために自分達にできることを考えた学習から、10年後の自分について考え、将来の夢や希望を持つことができるようにさせていく。例えば、体育科学習指導要領 第3学年及び第4及び学年の内容G保健(2)ア「体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること」で扱う「大きくなってきたわたし」の学習と関連させて、自分の10年の成長に気づかせ、その成長の過程で自分を見守ってくれた人々への感謝の気持ちを持ち、前向きに生きていこうとする心情を育てていきたい。家庭へのインタビュー等の活動においては、個々の家庭環境に十分配慮をしていく。

そして、資質・能力に関わっては、題材について北広島町を取り上げることで郷土愛を高めさせることをねらう。根拠をもとにした思考・判断・表現力の育成では、KJ法、ベン図、クラゲ・チャートなど思考ツールを使い育成したいと考えている。また、小集団での学習を取り入れることで他者とのかかわりや、自分もやればできるという自己効力感を高めさせていきたいと考えている。

- 2 目標 これまで10年間の地域と自分をふり返るとともに、今の自分を見つめ、将来の夢や希望を持ち、よりよく生きていこうとする意欲と態度を育むことができるようにする。

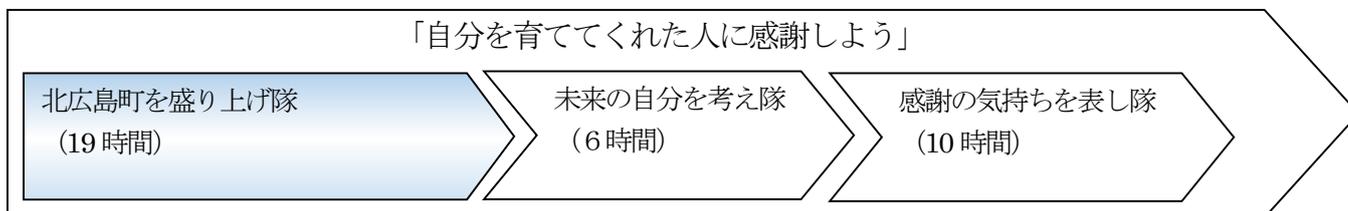
3 評価の観点

スキル	意欲・態度	価値観・倫理観
根拠をもとにした思考・判断・表現力	主体性	自己効力感・郷土愛
① 相手や目的に応じて、わかりやすくまとめることができる。	① 自分や地域の成長に気づき、関心を持つことができる。 ② 様々な人の話を自分から積極的に聞き、必要な情報を集めることができる。	① 地域の人々や家族との交流を通して、地域のために自分ができることを考えることができる。

4 評価の方法

- ・発表や話し合いの様子，学習や活動の状況などの観察による評価
- ・学習活動の過程や成果などの記録や作品（レポート，ワークシート，ノート，作文，論文，絵など）を計画的に集積したポートフォリオによる評価
- ・一定の課題の中で身に付けた力を用いて活動することによるパフォーマンス評価
- ・評価カードや学習記録などによる児童の自己評価や相互評価
- ・ゲストティーチャーによる他者評価

5 単元の流れ（全35時間）



6 小単元計画（6／19時間）

学習活動	指導上の留意点	評価規準【資質・能力】
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題の設定（1）</div> <p>1 10年前の北広島町について知り，地域行事「春を食べるかい」への出演依頼を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口のグラフ ・昔の写真 ・地図 ・地域や家族のアンケート ・出演依頼の手紙 	<ul style="list-style-type: none"> ○昔の自北広島町の様子を知り，活動の見通しを持たせる。 ○北広島町の関心を高めさせるため，地域の方から，「春を食べるかい」への出演依頼の手紙を披露し，参加への意欲を持たせる。 	<p>【意欲・態度】</p> <p>①自分や地域の成長に気づくことができる。</p>

<p style="text-align: center;">情報の収集, 整理・分析, 実行 (13)</p> <p>2 北広島町について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北広島町についてのイメージをウェービング法で広げ調べることが可能な項目を絞る。 ・決めた項目について, 協力しながら地域や家族の人にインタビューをする。 ・提示した資料をもとに詳しく調査する。 <p>3 「春を食べるかい」への出演内容について考え, 練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌, リコーダー演奏など自分達ができる内容で決める。 <p>(「春を食べるかい」に地域の一員として出演する。)</p> <p>4 10年後の北広島町について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春を食べるかい」に出演したことや会の様子などを参考にし, 山菜や歴史について知る。 ・北広島町に必要なもの・こと・人について考える。 ・自分達にできることを考える。(本時) <p>5 想像した10年後の北広島町の未来マップを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラゲ・チャートを使い未来マップのテーマを決定させる。 ・テーマをもとに未来マップを作成する。 	<p>○北広島町内の自然, 産業, 行事, 親としての願いなど調べるための視点を持たせる。</p> <p>○事前に地域や保護者の方へインタビューすることをお願いしておく。</p> <p>○「地域の方へ元気を届ける」をテーマに自分達ができる内容にする。</p> <p>○これまでの町の変化をふり返り, どんな町になってほしいのか, 地域や家族の思いに気付くことができるように, 地域や家族とのかかわりの場面を設定する。</p> <p>○少人数グループで調べてきたことをもとに友達と話し合いながら協力して活動できるようにする。</p>	<p>【意欲・態度】</p> <p>②様々な人の話を自分から積極的に聞き, 必要な情報を集めることができる。</p> <p>【価値観・倫理観】</p> <p>①地域の人々や家族との交流を通して, 地域のために自分ができることを考えることができる。</p> <p>【価値観・倫理観】</p> <p>①地域の人々や家族との交流を通して, 地域のために自分ができることを考えることができる。</p> <p>【スキル】</p> <p>①相手や目的に応じて, わかりやすくまとめることができる。</p>
<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現 (5)</p> <p>6 自分たちの考えを家族や地域の人に発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来マップの説明文を書き, 役場, 公民館, 商業施設など地域の人が集まる場所に未来マップを掲示していただく。 <p>7 これまでの学習をふり返り, 次時の学習につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の活動を自己評価で振り返り, 次の単元への意欲を持たせる。 	<p>○発信する方法を例示し, 掲示物や学校のホームページなど様々な方法で発信できるようにする。</p> <p>○これまでの学習をふり返り, 10年後にどんな大人になりたいか考える学習につなげていく。</p>	<p>【スキル】</p> <p>①相手や目的に応じて, わかりやすくまとめることができる。</p> <p>【価値観・倫理観】</p> <p>①地域の人々や家族との交流を通して, 地域のために自分ができることを考えることができる。</p>

7 本時の学習

整理・分析

(1) 本時の目標

地域や家族の人の思いに気づき、地域の人にとって住みやすい町になるように、今の自分にできることを考える。

(2) 評価規準

地域の人々や家族とのかかわりを通して、地域のために自分ができることを考えることができる。

【価値観・倫理観】

(3) 準備物

付箋、調査してきた資料、模造紙、ワークシート

(4) 学習の展開

	学習活動 (○) , 児童の反応 (・)	指導上の留意点◇ ◆配慮を要する児童への指導 の手立て	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
つかむ・見通す	<p>1 既習内容を振り返る。</p> <p>○「春を食べるかい」に参加して気付いたこと感じたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人に自分達の発表をみていただいた。 ・緊張したけど元気をとどけることができた。 <p>○自分達が考える理想の北広島町を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球場や映画館などを作って、北広島町を楽しくてにぎやかな町にする。 ・マンションを建てて人口を増やす。 <p>2 課題をつかむ</p> <p>○地域や家族の人たちのインタビューから分かった地域の人達の願いと、自分達の10年後に理想とする北広島町の思いを比べ、ベン図で整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達が思っていることと、地域の人たちの思いは似ているところもあるけど、違うところもある。 	◇事前に地域や家族の人にアンケートをとっておいたものを提示する。	

3 めあてを確認する。

今の自分達にできることはなにか考えよう。

4 個人で考える。

○これまで集めた資料をもとに、自分達にできることを考え、付箋に書かせる。

- ・北広島町のイベントに積極的に参加して、地域を盛り上げる。
- ・北広島町の特産物をアピールし、他の地域の人たちに知ってもらおう。
- ・北広島町の観光地やイベントを紹介するリーフを作り、たくさんの人に北広島町を訪れてもらう。
- ・豊かな自然を大切にする。

5 グループで交流する。

○K J法を使って、似た考えはグループ化しながら考えをまとめる。

6 全体で交流する。

○どのように見出しをつけてまとめたか説明する。

7 振り返りをする。

○友達の話聞いて、今の自分達にできることをワークシートに書く。

8 次時の予告をする。

◇自分達の思いと地域の人達の思いの共通点や相違点に気づかせることができるように資料を準備する。

◇考えたものを理由も合わせて付箋に書き込ませる。

◇理由に着目させてグループ化させるようにする。

◇地域の人達の思いに寄り添った考えに気づかせるようにする。

◇友達の話聞いて、自分の考えがどのように変わったか、今の自分達にできることはなにか考え、ワークシートに書かせる。

◇未来の北広島町の絵を書くことを予告する。

★【価値観・倫理観】
②地域の人々や家族とのかかわりを通して、地域のために自分ができることを考えることができる。
(授業観察, 自己評価, ワークシート)

